

井上哲次郎 ツツジ 哲學者、文學博士。安政二年十一月二十五日筑前國生れ、昭和十九年十一月七日歿（六六一九四）。舊姓喜田一船越、講哲、字子迪、通稱明夫。號天真子、巽軒、巽軒學人、軒軌等。東京大學文學部卒。ドイツ留學、明治二十二年帝國大學教授、三十年東京帝大文科大學學長。大東文化學院總長、貴族院議員、帝國學士院會員、哲學會會長など事務め、日本主義を唱へ、漢詩を能くした。

著譯書『新體詩抄・初編』（外山正一共撰、明治十五年八月井上哲次郎九家）矢田都良吉

次郎出版、再版『新體詩鈔・初編』十七年十一月十五日中曲屋邦善七叢書閣

他發兌）、『大發兌 心理新説』全二冊（抄譯、大槻文彦校訂、明治十五年九月同盟舎）、『大發兌 實地演説集』（合著・櫻井鎌造編、明治二十年二月一日石川傳吉刊、正文堂發兌）、『内地雜居論』（明治二十年九月一日哲學書院）、『井上博士講論集・第貳編』（佐村八郎編、明治二十八年十一月十八日敎業社）、『無聲鵲鳴』（合著・岩崎英重編、明治二十一年五月二十八日興雲閣）、『五十名家詩話録』（合著・平田骨仙撰、明治二十一年十月十一日平田勝馬刊、鐵筆書院）、『巽軒論文集初集』（明治二十二年十一月十日高山房）、『少年訓・第一集』（合著・山縣徳二郎編、明治二十二年十月五日内外出版協會「少年園叢書」）、『日本陽明學派之哲學』（明治二十二年十月十三日高山房）、『巽軒講話集』（初編、明治二十五年一月二十一日、二編、二十六年八月十一日博文館）、『菅公事蹟』（田中昂編、明治二十五年二月十五日田中昂刊、異版・東京國文社、博文館發兌）、『國字改良論叢』（合著・堀江秀雄纂、明治二十五年七月二十一日金澤堂書籍株式會社）、『白



二十五年七月二十一日金澤堂書籍株式會社）、『白

- 本古學派之哲學』(明治二十五年九月八日富士山房)、
 『倫理と宗教との關係』(明治二十五年九月二十五日富士山房)、
 『釋迦牟尼傳』(明治二十七年十一月十五日文明堂)、
 『增訂勅語行義』(增訂第一九九版、
 成美堂)、
 『日本朱子學派之哲學』(明治二十八年十一月十五日富士山房)、
 『叡山講義集』(合著、
 小池信美編、明治四十年十一月十日大阪・大阪朝日新聞社)、
 『現代名流自傳(第一編)』(合著、江戸肇編、明治四十一年二月十日新公論社)、
 『上上上階會會』
 於ける各十講演集・第一輯』(合著、千葉縣師範學校上躍會編、明治四十一年二月二十九日千葉・上躍會)、
 『古田松陰』(合著、帝國教育會編、明治四十一年二月二十二日弘道館)、
 『山鹿素行先生』(明治四十一年一月十四日素行會)、
 中江藤樹著『翁問答』(校訂、明治四十三年九月十日慶文堂書店)、
 『倫理研究』(合著、東亞協會編、明治四十三年十一月二十日弘道館)、
 『釋迦牟尼傳』(編謙德共著、明治四十四年九月二十五日新川文榮閣)、
 『英獨佛和哲學字彙』(元良勇次郎中島力造共著、明治四十五年一月四日九善株式會社)、
 『安東省庵』(合著、安東省庵記念會編、大正二年六月十五日福岡・安東省庵會事務所)、
 『實業修身教科書・一卷』(大正四年一月十七日六盟館)、
 『哲學と宗教』(大正四年二月十一日弘道館)、
 『ABC日本辭典』(共編、大正六年六月一日三省堂)、
 『現代女性觀』(合著、東亞教會編、大正六年九月一日弘道館)、
 『人格と修養(改訂・増補)』(大正八年十月十日慶文堂書店)、
 『特別講演筆記録・第四輯(思想問題)』(就)(大正十年七月十日陸軍士官學校將校集會所)、
 『佛道、基督教、儒教』(大正十年七月十日陸軍士官學校將校集會所)、
 『神道、基督教、儒教』(大正十年七月十日陸軍士官學校將校集會所)、
 『木村泰賢』(白野道安合著、一倉慶紀編、大正十二年七月十日陸軍士官學校將校集會所)、
 『加藤之智』

- 年六月、二十日青年八論社)、 『神社對宗教』 (合著・加藤玄智編、昭
 和五年五月十五日明治聖德記念學會、大鏡閣發賣)、 『基佛論譚』 (合
 著・尾島眞治編、昭和七年十月十日、信賴舎)、 『王道之國の指導原
 理』 (昭和八年十一月一日東亞民族文化協會)、 『南山集』 (昭和十
 年二月二十三日刊)、 『英雄教育法』 (合著、昭和十年四月十二日教
 育振作勸進部(下賜記念事業部) 學校教育精神作興會編刊)、 『佛敎講話』 (合著・佛誕二千
 五百年記念學會編、昭和十年五月二十日改造社)、 『菅原道真』 (昭
 和十一年十月二十日北海出版社、「日本教育家文庫」)、 『八聖殿講演
 集・第四輯』 (合著・家人明編、昭和十二年一月四日神奈川・八聖殿
 事務所)、 『^{渡邊翁}追悼陽明學研究』 (合著・木村秀吉編、昭和十二年七
 月二十日渡邊翁追悼陽明學研究刊行會)、 『新訂日本陽明學派之哲學』
 (昭和十二年八月十五日富山房「富山房百科文庫」)、 『新修日本精
 神讀本』 (合著、昭和十二年九月二十五日大阪・朝日新聞社)、 『孝
 女白菊 (孝女白菊の歌)』 (落合直文合著、昭和十四年五月一日熊本
 ・熊本市役所觀光課編刊)、 『觀音觀の種々相』 (合著・佐々木教純
 編、昭和十五年四月二十日有光社)、 『戰陣訓本義』 (中山久四郎共
 著、昭和十六年六月十日廣文堂書店)、 『不動精神(國民理想)』 (昭
 和十六年八月十五日不動全集刊行會「不動全集」)、 『武士道の本質』
 (昭和十七年七月五日有光社)、 『異野詩鈔』 (昭和十七年十月二十
 日富山房)、 『^釋敎育勸誘初義』 (昭和十七年十月二十日廣文堂書
 店)、 『懷舊錄』 (昭和十八年八月二十日春秋社松栢館「春秋社敎養
 叢書」)、 『勤皇烈士(心學)』 (合著・東京新聞社編、昭和十八年八
 月二十一日建設社)、 『^皇神(天皇)の御聖德』 (合著・下村壽一編著、

昭和十九年九月二十日白文松堂出版株式會社）、『異野年譜』（昭和十
九年十一月）二十日井上哲次郎生誕百年記念會實行委員會）等。

文獻、比佐祐次郎著、可井上『兩博士之國體論批判』（昭和二十年十二月十

八日弘道館）、小柳司氣太、村上八郎編、可井上博士年表國集』（昭和四年十二月）

十八日海峽館吉野刊）、『異野會編』、『青桐集』（昭和八年七月十五日文

倉廣文堂）等。